

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

●公共機関

- ・区役所
・会館
・会館
・会館
・郵便局
・郵便局
・郵便局
・郵便局
・郵便局
・放送局

●元住吉西口(ブレイメン通り/井田中ノ町商店街通り)

- ・音楽教室
・ワインバー
・カラオケスナック
・花屋
・鉄板焼
・ヘアサロン
・カフェ
・果物
・パン
・コーヒー専門
・イタリア料理
・音楽教室
・音楽教室
・コインランドリー
・理容室
・接骨院
・ヘアサロン
・デザイン制作
・カフェ
・時計・貴金属

●元住吉東口(オス商店街通り)

- ・介護センター
・お茶
・鍼灸院
・cafe+cake
・ファーストフード
・介護センター
・古本・CD
・整骨院
・調剤薬局
・飲み喰い処
・イタリア料理
・STEAK
・不動産
・旅する珈琲屋
・Gステーション

●元住吉近郊

- ・喫茶室
●武蔵小杉近郊
・紅茶専門店・喫茶室
・蕎麦店
・珈琲店
・喫茶店
・喫茶店
●東横線沿線
・調剤薬局
・写真
・レストラン&バー
・調剤薬局
・カフェレストラン
・ジャズ喫茶

中原区役所5Fなかはらっば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
川崎ブレイメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617
かわさきFM 中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイスTel.044-712-1791

SouleaveMusic School 中原区木月伊勢町10-1三起ビル302 Tel.044-750-8992
24 Wine&Coffee Stand 中原区今井南町37-13-101 Tel.044-573-3437
ROCOO 中原区今井南町37-13-102 Tel.044-733-7777
Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
ゆうさ亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
キャメルヘアデザイン 中原区木月1-32-10 中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
フルッチョ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
MUI (旧もとえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
オステリア ボッカーノ 中原区木月3-17-16 新井ビルB1F Tel.044-411-1003
島倉 学ミュージックスクール 中原区木月3-35-1ART FLATS B1F Tel.044-567-5490
有横堂日吉ミュージック・センター 中原区木月4-31-7 Tel.044-411-5701
マンマチャオ元住吉店 中原区井田中ノ町4-1 メゾンアッシュTel.0120-027-217
Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町5-3 関根ビル1F Tel.044-755-0273
井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
アルケファクトリー 中原区井田中ノ町8-43 Tel.090-4362-5413
フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
つだとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022

みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月2-2-3 メゾンミール元住吉 Tel.044-430-6963
金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
和式整体&整心の「響氣」 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880
Baloo(バルー) 中原区木月2-7-8 健庄ビル1F Tel.044-789-9625
モスバーガー元住吉店 中原区木月2-10-2 Tel.044-411-5979
ツツイ 中原区木月2-8-5MKビル1-B Tel.044-431-0027
凸と凹と 中原区木月2-10-3
オズ整骨院 中原区木月2-11-12 Tel.044-740-9100
綱島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
自在屋 中原区木月4-10-6 Tel.044-433-5644
ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
福街不動産 中原区木月祇園町12-1 Tel.044-750-0409
cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-101
ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863

シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-599-3499

Tea House ローズマリー 中原区小杉町3-70-4 ホーユパレス1F Tel.044-733-1076
そば あさひや 中原区小杉御殿町2-42-7 Tel.044-722-1768
Cafe TEMO(テモ) 中原区上小田中6-1-5 Tel.044-755-8234
Coffee Spot Life(ライフ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
ショップ カフェハット 中原区新城1-16-12 Tel.044-788-0116

駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
Public House びあにしも 川崎区小川町16-15ヒロサワビル103号Tel. 044-201-1668
オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
カンファリー ツリー 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビルTel.045-211-2200
マシュマロ 横浜市中区山下町214 巴里堂ビル2F Tel.090-2202-3294

※上記サポーター記載は無料です。

M
MAGAZINE

M
MAGAZINE
●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories

音友レコード倶楽部

Light Music
「軽音楽ファンの集い」

Jazz Date
「ジャズファンの集い」

新型コロナウイルスの感染拡大予防として7月の集いは中止。

ランチタイム・ロビーコンサート

川崎生涯学習プラザ

新型コロナ感染予防のためロビーコンサートは中止。開催詳細は担当まで。

発行人塚田親一 発行:音楽好きな友の会 川崎中原区木月2-21-32 TEL:090-9398-2889

2020-6-16-800 Printngk

元住吉の気軽な音楽会



音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/
後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会
公益財団法人 川崎国際交流協会
人形劇団ひとみ座 / rk-factory

2020
7 July 月号

Shinichi Tsukada



塚田親一(つかだしんいち):1946年東京・神田生まれ。築地で暮れて元住吉で落ち着く。高校時代に「ムーンライト・セレナーデ」の華麗なサウンドに魅せられ大学のビッグ・バンドでドラムを叩く。一時芸能界に参加後、日本のオーディオ3大メーカーである磁気記録会社に勤務。退職後オーディオやジャズ好きなメンバーと「音楽好きな友の会」を発足。オールディーズバンド、デキシーバンドを経験、現在ハウスバンドを結成中。ビッグ・バンドのスウィング・サウンドが大好きとか。

Photo: Yoshiro Yasuda

連載10 そして音楽の旅は続く

忘れられない1曲は、Cの棚にあった

7月号! 私は7月7日の七夕生まれなので、この季節はニコニコしゃやいます。でも、この時期の日本は北海道以外はどこでも梅雨〜。天の川を見るのが難しく残念です。ハワイで見たときは「やっと逢えたね!」って泣きそうでした。「星乃けい」はその名の通り、子供のころから星好きなんです。

18歳で行った合歓の郷でもよく星を見上げました。それは、いくらがんばっても曲が書けなかったからです。望んでいた環境をやっと手に入れたのに、何も生まれてこない。英虞湾(あごわん)の夕陽が星を連れてくるまで、岩場にずっと座ってたなあ。九州ではいろんな人に助けて貰ったけど、これからは自分一人で立ち上がらなきゃいけない。今さらながら甘えた自分が情けなくて、シンガーソングライターとしては暗黒の時代でした。ももんとした日々だったけど、合歓は救われる場所でもありました。ここにはレコーディングや合宿でいろんなプロアーティストが集まっていたので、アーティスト同志の知り合いがたくさんで、曲を創ることや

歌を唄うこと、いろんな話が弾みました。中でも特に歌の上手い、プロのボーカリストをそばで見ていて私は考えました。歌を唄うということだけでも、本当にたくさんのトレーニングが必要なのに、私は作詞・作曲・唄の三つすべてで満点を目指している…なんておこがましいんでしょ!と思いました。そしてその頃からは、作詞と唄に重きを置こうと考えました。もう星を見上げては曲が書けないと嘆くことはなくなりました。三つはできなくても、二つならがんばれるもんね!って感じです。暗黒時代であっても、得るものっていつでもどこにもあるんだね〜。

さて合歓での一番の楽しみは資料室のレコードでした。その数は膨大で、アルファベットのAから片端に聴きまくっても、合歓を出るまでにCまでしか辿り着けませんでした。そんなある日、忘れられない1曲に出会いました。Cの棚にあった、Carmen M' crae(カーメン・マクレオ)のThe Man I Loveという歌です。Fender Rhodes(フェンダーローズピアノ)の音色がポロ〜ン、ギターがポロ〜ン、まるでお話しでもしているみたいな唄い方から始まって、オーケストラも入ってきた〜!素敵なおコード!わー、これ好き!これカッコイイ!...ワクワク

ジャズボーカリスト 星乃けい official website https://www.hoshinokei.com

したその曲、その歌手はジャズの名曲、偉大なジャズボーカリストでしたが、ジャンルを超えて聴いていたので、それがジャズとはまったく気が付きませんでした。でも、その衝撃はいつまでも心に刻まれました。それからなんと20年経ってからジャズを知り、Carmenの唄に再び出会ったときは「Carmen! 貴方はここに居たんですね!」ってほんとうに嬉しかった〜。音楽をジャンルという壁で狭くしていたら巡り合うことも無かったでしょう。片っ端から聴いて良かったなあ。さて、そろそろ上京する時が来たようです。合歓に来たとき、肩に力が一杯入っていた剣道着は捨てて、私なりに流れて行こうかな。



Kei Hoshino
2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される



星乃けいさんと「音楽好きな友の会」

音楽好きな友の会(音友会)がレコードコンサートで借りていた元住吉・井田中ノ町商店街にあったコミュニティカフェ「ida cafe(イダカフェ)」。当初はカフェで、その後レンタルスペースとなりました。通りに面した入口は大きなガラス張りの窓、入ると吹き抜けの天井、内装は板張り天井にはファンが廻り、高い天井まで照らし出す調光電球などなど素晴らしい落ち着いた空間でした。毎週金曜日の夜には、音友会がお手伝いで、お酒で息抜きをして欲しいとJAZZのレコードが聴ける「Cool Down.J」を営業開始。そして音友会演奏メンバーによる生演奏ライブなどが楽しめる楽しい空間になりました。ある時、この素晴らしい空間の「イダカフェ」が立退のため閉鎖になると通告されました。そうであれば何か思い

出になるイベントが出来ないかと相談。顔の広いオーナーから「八百屋ジャズを呼ぼう」(星は八百屋さん、夜はジャズピアノ屋さん?)となりました。八百屋ジャズからは「どうせなら、ヴォーカルも自由が丘、渋谷、横浜など全国で活躍中の「星乃けい」さんにもお願いをしよう」となりました。ジャズヴォーカルならと、図々しく2曲のリクエストをお願いしてしまいました(笑)。「星乃けい」さんをあまり知らなかったのでネットを調べて大変驚きました。(スウィングジャーナル 誌の「ジャズディスク大賞・ボーカル賞」に2年連続ノミネートの快挙を果たし、「日本の女性ジャズ歌手として最高の水準にある星乃けい...故・岩浪洋三氏」と絶賛)。大変な人に声をかけて貰ったけど観客動員大丈夫かな?。それから言うと、ポスター、チラシなどの作成、配布で大変でした。それでも心配で心配で...。ところが当日

音楽好きな友の会代表 塚田 親一
第2回元住吉ミュージック・フェスティバル実行委員会代表

はそれらの心配をよそに「イダカフェ」は多に盛り上がりました。それが「イダカフェ」の大きなイベントの最後となりました。その後、元住吉駅前の「音友ハウス」のライブにも気軽に来て「結業」等を披露していただき、二次会にまでお付き合いしていただきました。音友会も5周年を迎え、どなたか著名な方にMマガジンの執筆をお願いできないか...となり、あの気さくな星乃けいさんに打診、快く引き受けて頂きました。星乃けいさんとの世間話の中で元住吉ミュージック・フェスティバルの音楽監督・伊津野忠里(ビッグバンド・アレンジャー)さんのバンドでも歌った事が解りました。音楽の世界は以外と狭いなあと思いました。機会があれば、八百屋バンドとビッグバンドで星乃けいさんの歌を十二分に聴かせて頂きたいと思ひます。

「音友レコード倶楽部」

軽音楽ファンの集い「Light Music」&ジャズファンの集い「Jazz Date」を月に2回開催。



※コロナ感染拡大対策のため、暫くお休みをさせていただきます。今後の詳細は、ontomo.jpのホームページで確認をお願いします。

ジェットストリームの様な軽音楽好き、またジャズレコードコレクターなどジャズファン好きが月に2回集まって昔のサウンドを楽しんでいます。SP、LP、EPやCDなどを持ち寄り、好みの集いに参加して懐かしいあの頃のレコードを聞きながら音楽談義をしています。ぜひ一度参加してみてください。(※SP盤持参の場合は事前にご連絡ください)
・時間:2時30分開会〜5時30分閉会(2時間開場)
・場所:「Soul Eggs/ソウル エッグス」tel.044-982-9972
川崎中原区 木月3-6-18 元住吉 コアビル2階
・アクセス:元住吉駅/徒歩4分ブレイメン通り(牛井松屋2階)
●レコード倶楽部コンサートの問い合わせ
※[非通知設定]には対応不可。ontomo.jp 検索
090-9398-2889 (担当:塚田)



島倉 学ミュージックスクール

驚くほど歌い方が上達する「島倉 学メソッド」
歌が人生を変える
音楽は決して貴方を裏切らない

島倉 学ミュージックスクール

プロ志望専門ヴォイス・トレーニング
30分無料体験レッスン実施中!
【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分
島倉音楽スタジオ
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106号)
【お問い合わせ】
島倉音楽事務所
代表 島倉 学 苑
営業日:日曜〜土曜 12:00〜21:00
定休日:日曜・月曜
TEL 044-567-5940
Mail: info@ms-musicschool.com
HP: http://www.ms-musicschool.com/

「至上の愛」がもたらした多くの影響力

神山 昇



▲A Love Supreme (至上の愛) / John Coltrane ジャケットデザインはモダンアート。

アメリカのグラフィックデザイナー、リード・マイルスをご存知ですか。あの「ブルーノート」のジャケットデザインを担当していた人です。創設者であるアルフレッド・ライオンに売り込みをかけたなんとブルーノートの400枚以上のジャケットデザインを創作しました。

その斬新なタイプグラフィティと、大胆な写真のトリミングは当時、グラフィックデザインの先端を行っていました。

恰好から入る中身の無い私ですから、そういったアメリカの洒落たデザイ

ンの虜になってしまったのです。当時の私はレコード屋さんを覗く時、ジャズコーナーは欠かせません。そんななかで目についたのがジョン・コルトレーンの「至上の愛」でした。デザインも然ることながらコルトレーンの顔が気に入った。つまり写真です。「デザインとは言葉と写真が駄目だと全てが駄目になる」といった成果を得ました。

ただ、このレコードは以前聴いた事があったなど気が付きます。大学の闘争に破れ挫折し、一方は過激派に進み、映画にもなった『浅間山荘』事件に関わって行く者も。でも私は頭の悪さが嵩じて、思想の勉強会には出席せず、ただ、ただ友人の家に閉じて

もり好きなイラストを描いていました。その友人は高校の美術部で部長をしていて「美術」に対し技術も知識も豊富だった。特に現代美術。当時、美術手帳といった専門誌や画集が部屋中に山積みになっていました。さらに、彼の親友が時折現れます。同じ高校で文芸部の部長だった者です。詩を書き、小説も書く、恐ろしく教養があります。ところが、彼が来るたびに二人は必ず喧嘩になる。小説家の言わんとするテーマに

付いて安部公房が大健三郎郎で始まります。内容が解らない僕は言い合う二人を横目で見ながら部屋の片隅で漫画を読みながら無視します。

彼らの討論は小説に始まり、アンディ・ウォーホル、池田満寿夫といった現代美術家の話にもなります。聞いていてもテンションカンパですが、始まるタイミングがありました。ジョン・コルトレーンの「至上の愛」掛かり出すと始まり、レコード針が盤から離れたら静まりかえり、いつもそんな感じでした。

19歳も終わる頃に出会った、コルトレーンと二人の存在は創作活動に最も影響されました。そして、コルトレーンを知るとマイルス・デイヴィス、セロニアス・モンクといった巨匠達を片端から聴かします。モダンジャズを聞くようになって「美術」に対し技術も知識も豊富だった。特に現代美術。当時、美術手帳といった専門誌や画集が部屋中に山積みになっていました。さらに、彼の親友が時折現れます。同じ高校で文芸部の部長だった者です。詩を書き、小説も書く、恐ろしく教養があります。ところが、彼が来るたびに二人は必ず喧嘩になる。小説家の言わんとするテーマに

特別寄稿 Music Conversations

音友レコード倶楽部・音楽談義

レコードコンサート
Jazz Date DJ担当
棚川 潔

足繁く通ったジャズハウス『SWAN』



▲①2016年12月開催のJazz Dateプログラム

『idacafe』で開催されていた2016年12月のJazz Dateは「足繁く通ったJAZZ喫茶と思いのアルバム」と題し私がDJを担当しました。プログラム(写真①)最後のお店は、現在も新所沢で営業されている『SWAN』でした。現在の場所に移転する前は所沢市にあり、V字形道路に沿って建っていた事から「三角スワン」と呼ばれていました。1973年に北海道札幌から上京し社員寮に入居後に、ジャズを聴かせてくれる店は近くにないかと探し当てその店を訪れました。1階は常連さん達が集まるようなバーで、2階が音楽をじっくり聴かせてくれるスペースでした。ビールの小瓶を注文し粘っている私にマスターは、「何かリクエストはありますか?」と毎回声をかけてくれました。雑誌でライブ演奏の名盤と評価を受けていながら未だ聴いたことの無かったジョージ・ウォーリントン・クイントットの「At The Bohemia」をリクエストすると、これで良いですか?と座席までジャケットを持って確認に来てくれました。ジャッキー・マクリーン24歳、ドナルド・バード20歳、ポール・チェンバース20歳など若手ハード・バッパーの熱演に目を閉じて体を揺すっていたものです。1年後に正式配属となりその土地を離れる事になりましたが、20年後の1995年に再び西武新宿線沿線の事業所に異動となりました。早速この店を訪ねましたが所沢のその場所にはなく、同じ『SWAN』の名のお店(写真②)が新所沢で番号掲載があると104から教えてもらいました。程なく到着すると「先ほど電話をくれた方ですか?」と

美人のママさんが笑顔で迎えてくれました。ピアノとドラムセットが常設され、当時7,000枚ほどのLPレコードが壁一面を占める移動式棚に収まり、反対の壁面にはママさん(美術大学出身)自筆の大きな風景油彩画が飾られるなどとても雰囲気のあるお店でした。40代後半となり落ち着けるバーを探していた私は、I.W.ハーバーのボトルを常にキープし多い日は週に3日訪れ「音のシャワー」を浴び、ほろ酔いで帰路についたものでした。ママさんは手際の時はいつも詩を読んでいる人で、コルトレーンを表現した谷川俊太郎さんの詩の一節を教えてくれたこともありました。コルトレーンが1966年に来日した時に撮影したという大きな写真がお店のどこからでも目に入りますが、その写真を観ながら「Duke Ellington & John Coltrane」をリクエストしたら、そのお返しにとかけてくれたデクスター・ゴードンの「Gettin' Around」から流れた太く遅いトーンは「今日も一日お疲れ様」と癒してくれる気がしました。これが2016年12月のJazz Dateに紹介したいきさつです。ライブを聴きながら筆談したこともありました。高校時代毎週ラジオで聴いていた増尾好秋のギターが大好きだったとメモると、「マスターが早稲田なので増尾さんも大学時代から良く出演してくれたのよ」と書き込みが戻ってきました。毎週金曜日のライブでは、アルトの林栄一、ピアノの椎名豊や国府弘子などを良く聴きました。特に同年代の林栄一は毎回前衛的なソノを10分近く吹きまくっていました。難解でしたが心の芯までしみ通るライブならではの迫力ある演奏でした。ある晩林グループの到着が遅れ最後まで聴けないなど覚悟していたら、お客様の新宿行き最終電車の都合もあるのて休憩時間を短くして後半の演奏を開始してほしいと交渉してくれたことも忘れられません。林栄一・峰厚介・渋谷谷の3人



▲②保存していた『SWAN』のマッチ

音友レコード倶楽部
Light Music & Jazz Date
お知らせ

「軽音楽ファンの集い」、「ジャズファンの集い」は、新型コロナウイルスの影響により、暫くお休みさせていただきます。今後の詳細は、ontomo.jpのホームページで確認をお願いします。

路地裏の物語

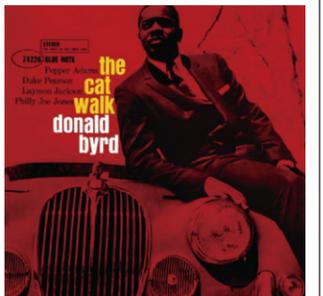
4ビートに首ったけ 大編成プラスアンサンブルとハードバップでお楽しみください。長谷部 徹

私のお店(フラワーショップ)はブレメン通りから横道に入った路地に面しているのですが、路地には路地特有の小さな世界があって面白いですよ。日々観察をしていて、特に楽しいのが、野良猫達の日常です。住民達と付かず離れず、ある時は可愛がられ、また憎まれながらもちょっぴり距離感を保って、したたかに生き抜いています。猫達の中にも力関係があるようで、まずオス猫の通称「耳無し」がトップに君臨しているらしい。幾たびかの戦いで片耳をちぎられ、また右後ろ脚を軽く引くように歩く姿は、迫力満点です。氷のように冷たい眼差しとともに、その存在感はもはや猫を超えている!その耳無しに愛されているのが、まずは通称「正妻」。白地にバランスよく黒がまじり美しいメスです。そしてもう一匹、通称「めかけ」。この猫は甘え上手なタキシードキャット。この2匹のメスに共通しているのはどちらも凄く可愛い。だから、毎年春と秋、この路地に現れる仔猫たちは1匹残らず、全部可愛い。丸い顔に大きな眼、必死な様子でミーミー鳴いている姿を見ると愛しくてたまりませんね。野良猫たちがうろろしている街って平和そうが良いですね。さて、どうでもいい雑談はこれくらいにして、今回は、まあ当然の流れと言いましようか、「猫」関係のアルバムをご紹介します。

まず1枚目は1964年4月録音、ジミー・スミス(Org)の「THE CAT」(写真①)。さて、このアルバムの聴きどころと言えば、何と云ってもラロ・シプリンの編曲とプラスアレンジですね。ジミー・スミスはブルーノートから大手のヴァープに移って大掛かりな仕事をしたかったのかな?ここでは総勢15人のプラスアンサンブルにリズム部隊を加えた大編成のバンドをバックにオル



▲①The Cat/Jimmy Smith



▲②The Cat Walk/Donald Byrd

ガンをはきまくっています。更に、プロデューサーは後にCTIレーベルを立ち上げるクロード・テイラー。とくれば、ジャズのジャンルに収まりきらずに、より大衆を虜にするような音楽になって行ったのは自然な流れだったのでしょう。実際にこのアルバムはビルボードのポップチャートで12位にランクインしています。お気に入り2曲目「The Cat」。これは映画「危険がいっぱい(仏)」の挿入曲で、映画音楽らしく、ドラマティックでキャッチーなメロディです。危険な香りの中、猫が足音を忍ばせて機敏に行動する様子が目に浮かぶようですね。もともとオルガンって厚みのある音を出すのに、それにも増してプラス隊が超厚重な音を出して重なってきます。厚みがあるのにキレが良くってカッコイイですよ。次は5曲目「Chicago Serenade」。この曲では品のあるブルースを聴かせています。このスローなバラードではジミー・スミスの激しい1面ではなく繊細でリリカルなプレイが堪能できます。難しいないアルバムなので、ポップス好きな方にもお勧めです。続いてご紹介するのは1961年5月録音、ドナルド・バード(tp)の「THE CAT WALK」(写真②)。トランペット

とバリトンサックスの相性が面白いアルバムです。また、ピアノのデューク・ピアソンが作曲だけではなく音作りの面でも重要な役割なんじゃないかな?お気に入り、まず、彼が作った1曲目「Say You're Mine」。この人の曲ってバリバリのハードバップでも、どこか上品でオシャレなんですね。ミュートブレイのトランペットから始まり、心臓に響くバリトンサックスへ、その後のピアノのピアノソロは小ジャレテしています。次に4曲目、タイトル曲の「The Cat Walk」。「猫が通るような細い道」って意味らしいですね。そんな都会の裏側の鬱陶気のカッコ良い曲です。この曲、細かいキメのストップが随所に入っていて、演奏するのが難しいんじゃないかな。プロって凄いですね。このアルバム、内容もジャケットデザインもモロにブルーノート全盛期真つ只中って感じで痺れてしまいます。是非、聴いてみてください。さて、路地の話に戻りますが、最近、「耳無し」に挑戦している若いオス猫が現れたんですね。どうなるのでしょうか?「耳無し」の運命やいかに!路地裏の勢力図は変わるのか!ちょっと眼が離せない状況が続いています。

連載46 「くじら座」日記

最後の言葉

牧野ケント

最後に交わした言葉は何だったんだろう。つい2、3日前の話なのに記憶はおぼろげで、はっきり思い出すことができない。作詞をして言葉を紡ぐ立場であるのに、また、普段から言葉を大切にすべきだと偉そうに言っている立場であったはずなのに、その自分が、こんな簡単なことを忘れていた。僕は、何ひとつ言葉を大切にできなかった。混沌としたこのご時世、何か自分ができることかと思ひ、僕は地元焼津の高草山に登り、「高草山の歌」をつくった。少しご機嫌斜めな曇り空の下、いつもより高く陰る波を眺め、「天気の良い日にまた来たいな」と思った。この時は、次にここに来るとき、まさかあんなことになっているとは知る由もなかった。僕のもとに一本の電話が入ったの

は、その翌日のことだった。電話越しに言葉を失った。相手の言葉に頭がまったく追いつかず、話も理解できない。その電話の内容は、僕の音楽活動をサポートしてくれていた仲間の一人が、26歳という若さで、この世を去ってしまったことを告げるものだった。あれが最後の姿だとは思っていてもいなかった。いつものように彼が調子良く僕に声を掛ける。僕がそれに答える。そこにあった当たり前の光景が、今、当たり前でなくなったことを、僕は受け入れることができなかった。僕がライブをしているとき、観客席を盛り上げようと、笑顔を振りまいていた彼の姿。僕の代わりに、僕のチラシを一生懸命配ってまわってくれた、彼の必死な姿。そのひとつひとつが、時間の経過とともに少しずつ浮かんでくる。言葉を紡ぐ者として、あの時僕は、彼に何をすべきだっただろう。何と



言うべきだっただろう。もう一度、高草山に登り、写真におさめた焼津の街。悔しいくらいに、皮肉なくらいに澄んだ青空。小鳥がさえずると、緑の隙間から優しく木漏れ日が降り注いだ。僕の心は裏腹に、世界はあまりにも穏やかだった。歌うことが、彼への恩返しになってくれるのはわからないけれど、あの日の彼の真剣な眼差しを心に刻み続けるために、せめて歌い続けることが必要だとは感じる。僕はこれから、何をすべきだろう。何と言葉を紡いでいくべきだろう。かつての平穏な日々を取り戻し、ステージに立ち、夢を叶える日を想いながら、僕は自問自答を繰り返している。

MOTTON CLUB

地域の、全国のミュージシャン、そして音楽活動に関わるあらゆる人をネットワークしたい。演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信を積極的に活動していくことが目的です。元住吉から発信して行きます。アーティスト・メンバー募集中!!

<https://mottonclub.com/>

連載26 Course: Addicted to Guitar ギャロッピング奏法に挑戦2 永瀬 晋

お世話になっております。今月もまたギターを始めたばかりの方にお勧めなギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。今回は前回に続きギャロッピング奏法第2回のご紹介です。今回はCのコードでベースラインを作ってみました。今回はベースライ

ンに音に乗せる練習になります。ベースラインは4'6弦、2弦1フレットの「ド」の音がメロディーという扱いになります。コツは4拍あるうちのどの拍と同時にメロディーを弾くかを把握することですね。まずは一小節づつ繰り返しながら弾いていくと右手に動きが馴染んでく

ると思いますので、ゆっくりチャレンジしてみてください。ギャロッピング奏法の基礎的な動きになりますので、これを機に是非習得してみてください。今回は難易度が少々高めですが、難しいなと思ったら前回のエクササイズもチェックしてみてください。というわけでまた次回!

Ex-1

ソウリーヴ・ミュージック・スクール
SouleaveMusic School
<http://souleave-music.com/>

元住吉駅徒歩3分・武蔵小杉駅徒歩13分
チケット制 音楽教室 Tel. 044-750-8992
AM8:00 / PM2:00start